

## J E N E S Y S 2 . 0

### 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」参加団体への支援

日時 平成 27 年 9 月 19 日（土）、20 日（日）

#### 1. 概要

JENESYS2.0 の一環として、「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」への出演が決まっている団体等を対象に、日韓文化交流基金から出演に係る費用の支援を行いました。出演者はそれぞれステージ出演や前後の活動を通じて、来場者に日本のおまつりや魅力について発信を行いました。

当基金の支援対象は以下の通りです。

- ・ 創価ルネサンスバンガード(マーチングバンド)
- ・ 梅花女子大学チアリーディング部レイダース

#### 2. 日程

##### 9 月 19 日(土)

「日韓交流おまつり 2014 in SEOUL」参加（於:ソウル市内 新村延世路近隣）

##### 9 月 20 日(日)

「日韓交流おまつり 2014 in SEOUL」参加（於:ソウル市内 貿易センター(COEX)）

3. 写真

	
<p>(日本語) 9月19日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 創価ルネサンスバンガード (ソウル市内)</p>	<p>(日本語) 9月19日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 創価ルネサンスバンガード (ソウル市内)</p>
<p>(母国語) 9월 19일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 소우카 르네상스 밴거드(서울 시내)</p>	<p>(母国語) 9월 19일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 소우카 르네상스 밴거드(서울 시내)</p>
	
<p>(日本語) 9月20日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 創価ルネサンスバンガード (ソウル市内)</p>	<p>(日本語) 9月20日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 創価ルネサンスバンガード (ソウル市内)</p>
<p>(母国語) 9월 20일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 소우카 르네상스 밴거드(서울 시내)</p>	<p>(母国語) 9월 20일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 소우카 르네상스 밴거드(서울 시내)</p>

	
<p>(日本語) 9月19日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 「梅花女子大学チアリーディング部」 (ソウル市内)</p>	<p>(日本語) 9月19日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 「梅花女子大学チアリーディング部」 (ソウル市内)</p>
<p>(母国語) 9월 19 일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 「바이카 여자대학교 치어리딩팀」 (서울 시내)</p>	<p>(母国語) 9월 19 일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 「바이카 여자대학교 치어리딩팀」 (서울 시내)</p>
	
<p>(日本語) 9月20日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 「梅花女子大学チアリーディング部」 (ソウル市内)</p>	<p>(日本語) 9月20日 「日韓交流おまつり 2015 in SEOUL」 「梅花女子大学チアリーディング部」 (ソウル市内)</p>
<p>(母国語) 9월 20 일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 「바이카 여자대학교 치어리딩팀」 (서울 시내)</p>	<p>(母国語) 9월 20 일 「한일축제한마당 2015 in SEOUL」 「바이카 여자대학교 치어리딩팀」 (서울 시내)</p>

## 4. 参加者の感想

### ◆印象的だったこと

#### ○日韓交流おまつりについて

- ・公演は、言葉がわからなくても人の気持ちは伝わることを感じる事ができた。
- ・演技をみて感動の涙を流しているのを見たときに、改めて人との交流が盛んになることで心や気持ちは通じることを体感した。
- ・お互いの国を思いあい、理解しあって、もっと国と国、人と人の交流が盛んになってほしいと強く思った。
- ・コンサート会場では入場から退場するまで沢山の声援と拍手喝采を浴び大変感激しました。パレード演奏中も、お店の中からやビルの屋上から多くの方が競い合うようにスマホで録画している姿に、大変嬉しく思いました。涙を流して喜んで下さったり、握手を求められたり、改めて直接触れ合うことの大切さを実感致しました。

#### ○韓国、韓国人について

- ・日本語が話せる人が多く驚いた。日本もいろいろな言語を話せるようになるといいなと思った。
- ・とてもフレンドリーなのと、日本に興味を持っていてくれてうれしかった。
- ・日本と最も近く、共感する点がたくさんあった。
- ・文化や良いところをよく知って、広めていきたいと思った。
- ・とても良心的で快く迎え入れてくれた。国家間の問題があるかもしれないが、もっと良好な関係になればいいなと思った。
- ・思っていた韓国のイメージとは全然違っていた。日本人を嫌っていると思っていたが全くそうではなく、楽しい時間を過ごせた。
- ・メディアの報道をみて少し不安はあったが、歓迎してくれてうれしかった。報道だけで判断するのではなく、しっかり自分の目で見て知っていきたいと思った。
- ・韓国での出演に際して、もともと自分が持っていた韓国への偏見から不安を感じていましたが、来て頂いた方々やお祭りのスタッフの方々の反応を見て、偏見が無くなり自分の杞憂であった事を実感しました。今回の出演を通して国は違えど、お互いに仲良くしたいという思いは同じなんだと確信致しました。

### ◆自国の人に伝えたいこと

- ・日本国内では、一時の韓流ブームが過ぎ去り、国家レベルでの日韓関係の冷え込みが報道されておりますが、民間レベルでの交流には全く関係が無いことを感じました。お互いの文化の良きところに学び合いながら、もっと交流を深めていければと思いました。日本もそうですが、特に女性の方の元気の良さ、パワーがすごいなと実感しました。

- ・演奏中に観衆の反応がものすごく良く、聴衆が本当に喜んでくれているんだとストレートに実感できた。韓国の方々は暖かい人たちばかりだなと感じた。

- ・私達が思う以上に韓国の方々は親日であることがわかった。パレード中に、沿道の方からの反応

で「(日本語で)かっこいいー！」という言葉をかけてもらったり、大きな拍手をもらったりしていることは日本の団体に興味を持ってきている証拠なのだと感じた。これが日本で、韓国の団体が演奏していても同じ反応にはならないと思った。

・特に、アリランの演奏をした時には、拍手や歓声、涙を流しながら口ずさむ方がおり、会場内が国境を越えて一つになる情景を目の当たりにした。今回の件により、日韓友好は私たちが思う程、遠くない将来に深まると確信している。